

## 負ける練習

### 負けるとは？

私たち親は、将来が予測しにくい状況の中、子どもには親よりもたくましく、親よりも粘り強く、人生を生き抜いていく力と知恵を子どもには与えておきたい。それが親の愛情であり、義務であると私は考えることがよくあります。

そのためにはどうしたらよいのでしょうか？『負ける練習、恥をさらす練習、かっこの悪い体験をできるだけ多く、子どもにさせておくこと』だと、聞いたことがあります。人間の身体は使ったところが強くなります。その反対に使わないところはどんどん弱くなります。現代の子どもたちにとって一番弱いところはどこでしょうか？それは負けに耐える心、カッコ悪さに耐える心だと言えるのではないのでしょうか。負けるということは自分の思いが通らぬということです。自分の思いが通らないとき、子どもは「我慢して自分の欲望にブレーキをかける」か、「ダダをこねて思いを通そうとする」か、最悪の場合「キレル」こともあります。さらにこんな状況が重なると、困難だとわかるとすぐ逃げてしまうような弱さが身につけてしまうのではないのでしょうか。



### 人生は負けの連続

私たち親は、大体において後者の方で、大事に大事にダダをこねさせて子どもの思いを受け入れることが多いと思います。さらにお年寄りのいる家ではそれに拍車がかかったりもします。つまり、子どもの我慢する体験や機会を親自身の手で取り上げてしまい、わずかなことにも我慢のできない子どもを創りあげてしまうというのが現状ではないのでしょうか。

長い人生には、自分の思いが通らない場合がたくさんあります。むしろ、自分の思うようにならないのが人生だと考えます。「思うようにならない」。それは言葉をかえれば『負ける』ことです。自分の思い通りにカッコよく勝つことは人生ではごく稀です。だからこそ、『負ける練習』が必要だということです。

### 『いのちの根』を育てる



『負ける』ことによって、失敗してもへこたれないたくましい人間になっていきます。また、『負ける』ことによって、負けた人間の気持ちがわかるようになり、思いやりや謙虚な心が芽生えてきます。そうすることによって、人生のどんな波風や屈辱にも耐えてまっすぐに自分の路を歩んでいける、そんなしっかりした『いのちの根』を作ってやるのが本当の愛情であると考えます。楽をしてカッコいいこと、つまり、安易に勝つことばかりを与え、育てられた子どもたちは、その分だけ『いのちの根』が浅く、私たち親がいなくなった後の子どもの負担が大きくなってしまっているのではないのでしょうか。

### インフルエンザ警報!

- インフルエンザ流行の兆しです。下記の対策をお願いします。
- (1)起床時、体調がすぐれない場合は、必ず体温を測る。熱がある場合は、無理せず学校を休み、受診する。
- (2)登校はマスクを着用する。

## 第38週の子定

日	曜	行 事	整対	1	2	3	4	5	6
10	月	県立I期確約書提出 日大東北合格発表 下校15:55 スクールバス(17:30)	定期テスト 学習	月	月	月	月	月	月
11	火	建国記念の日							
12	水	P T A本部役員選考委員会18:30 下校15:55 スクールバス(17:30)	定期テスト 学習	木	木	木	木	木	木
13	木	福島大学生教育実習 下校15:55 スクールバス(17:30)	定期テスト 学習	水	水	水	水	水	水
14	金	生徒会総会 下校14:55 スクールバス(17:30)	定期テスト 学習	金	金	金	金	総 会	総 会

### 連絡・お知らせ

- 来週18・19日は定期テストです。1年を締めくくる大切なテストです。計画的に学習しましょう。
- 14日はバレンタインデーですが、学校では、不要物を持参しないように指導しています。